

2011 年 9 月 20 日		
島根大学長 殿		
機 関 名 ・ 職 名 研究者名 (代表者名) 寧夏大学政法学院・助理研究員 江 曉紅 ⑧		
2011 年度研究奨励助成 研究報告書		
研究分野 (該当分野を○で囲んでください。)	1. 寧夏南部山区と日本の中山間地域の持続的可能な発展に関する研究 2. 生態系・環境の保護と再生に関する調査研究 3. 農業経済と社会発展の比較に関する調査研究	
研究課題	寧夏南部山区における農村留守婦人の生存と持続可能な発展に関する研究	
研究者の連絡先	/	
実施期間	2010 年 12 月 ～ 2011 年 9 月	
研究の実績・成果の概要	<p>1、2011 年月～6 月、南部山区の西吉及び涇源县を中心に調査を行い、農村留守婦人の生存と発展に関わる資料を収集。</p> <p>2、2011 年 7 月、研究メンバーは再び現地調査。2011 年 8 月、資料整理、データ処理。</p> <p>3、2011 年 8 月下旬、南部山区の農村留守婦人への影響要因と彼女たちの生存状態を分析。結果:①土地のみが農民の基本社会保障であるという農民の職能が変わらなければ、農村留守婦人現象は継続され続け、その人数が毎年上昇し続ける。②中国の城郷二元体制において、農民工は都市戸籍の待遇を受けられず、生活コストと教育コストと高さ、及び低福祉の影響で家庭全員での都市移住ができない。③「男が外で働き、女が家事を担当」という農村の伝統的性別分業と「男強女弱」の観念から稼ぐのは男性だという考えがある。以上の要因から、重い労働負担、良くない健康状態、子どもの教育ストレス、精神的負担の増加、という留守婦人の状況が生まれ、家庭機能のバランスが失われ、夫婦感情が悪化し、家庭内の不安定性が高まる。</p> <p>4、2011 年 9 月、「農村留守婦人たちの生存と持続可能な発展に関する研究—寧夏南部山区を例として」という論文を完成させ、2011 年 12 月、中国社会科学核心季刊「新疆大学学报」にて発表した。</p>	
経費内容		
区 分	金額 (単位: 円)	備 考
1. 雑費	11,842.71	調査用雑費、資料印刷等
2. 消耗品費	13,634.05	文房具等
3. 通信運搬費	0.00	
4. 図書費	0.00	
5. 福利厚生費	0.00	
6. 旅費交通費	59,836.17	調査交通費、宿泊費
7. 報酬委託手数料	64,687.08	アンケート調査労務費
合 計	150,000.00	